

# TDA まちあるき 2024 大宮氷川参道

成熟した既成市街地の  
新時代のまちづくり

2024年6月1日(土)  
13:30 ~ 16:30  
JRさいたま新都心駅

## □プログラム

### 第1部 13:30 ~ 15:30 まちあるき

JRさいたま新都心駅 →一之鳥居 →氷川参道  
→大宮区役所 →平成広場 →二之鳥居 →Bibli  
→一の宮通り →一番街 →まちラボおおみや

### 第2部 15:30 ~ 16:30 ミーティング

会場：まちラボおおみや  
JR大宮駅東口 大宮ラクーン8階

### 懇親会 17:00 ~ (有志のみ)

参加費 4,000円程度  
会場は追ってお知らせいたします。

## □参加費

会員(団体賛助会員社員・会員含) 500円  
一般 1,000円  
学生無料

## □申込方法

申込みフォームよりお申し込みください。  
<https://forms.gle/9eVhdgCba77NMr9U6>  
QRコードからも申し込めます ▶



大宮は不動産・住宅サイトが発表する「住みたい街ランキング2024」において、横浜に次ぐ2位につけている魅力的なまちである。その理由として、街が賑わっている、都心に住まなくても快適に通勤できる、活気がある、といった理由が挙げられており、生活利便性の高さが評価の一因となっている。

一方で、JR大宮駅東口一帯は、埼玉県内随一の業務・商業集積地であるにもかかわらず、長期間にわたり都市更新が停滞していた。これには市の都市整備における優先順位も影響していると考えられる。

しかし、令和5年にはさいたま市から駅前賑わい拠点実施方針が示され、今後、氷川参道や大宮駅中央通りといった都市軸の再整備や、公共施設の再編による再整備の進展が期待される。また、実施方針では、大宮駅周辺の代表的な景観である「路地」を賑わい交流軸と定め回遊ルートを設定するなど、積極的に活用することを目指している。

さらにUDCO(アーバンデザインセンター大宮)が主導している、地域のステークホルダーを巻き込んだ地域活性化手法にも注目が集まる。

2024年度のTDAまちあるきでは、整備の進む氷川参道を中心に、大宮区役所やBibliといった公共施設の見学を交えて、変わりつつある大宮駅東口周辺を観察し、成熟した既成市街地における新時代のまちづくりの現状について勉強したい。

